

入院のご案内



立川病院

国家公務員共済組合連合会 立川病院

日本医療機能評価機構(3rdG:Ver1.1)認定病院 地域医療支援病院 東京都災害拠点病院



当院の理念

質の高い思いやりのある医療の実践

患者さん中心の医療
(Patient centered care)

皆の協働で実践する医療
(Partnership)

高い専門性と倫理観に基づく医療
(Professionalism)

～患者権利章典～

患者さんには以下の権利及び責務があります。

- だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- だれもが、一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
- 認知症や精神疾患を有している等、意思決定が困難な場合でも、その人にとって最善の医療を受ける権利があります。
- 身体機能に不自由があっても、不利益を被ることなく診療を受ける権利があります。
- 病気、検査、治療、見直しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。
- 自分の診療記録の開示を求める権利があります。
- 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。
- 研究途上にある医療に関し、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、その医療を受けるかどうかを決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでもその医療を拒否する権利があります。
- 良質な医療を実現するためには、医師をはじめとする医療提供者に対し、患者さん自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
- 納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する責務があります。
- すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、患者さんには、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責務があります。

患者さんにご家族に守っていただく事項

患者さんご家族の方との信頼関係を構築し、最良の医療を提供するために、以下の事項をご理解ください。

1. 診療行為は患者さんの病気の治療あるいは病気の進行を食い止めるために行われますが、多少なりとも危険を伴います。治療を受けるかどうかは説明をお聞きになった上で、患者さん本人が最終判断をしてください。また、治療が病気になられる前の状態への回復を約束するものではないことをご承知ください。
2. 診断・検査・治療などでわからないことは、主治医や看護師へお尋ねください。そして理解し、合意のうえで受けてください。理解・合意できない場合はその旨をお伝えください。
3. 病状や治療方針などの説明を受ける際は、聞き間違いや誤解を防ぐため、できれば患者さんご本人だけでなくご家族と一緒に聞きください。また、ご家族が別々の時間に来院し、それぞれが説明を求めることは極力控えてください。
4. 患者さん・ご家族のご希望による時間外・休日の医師からの病状等の説明はお受けできない場合がありますので、ご了承ください。
5. 診療は、救命医療が最優先されます。しかしながら、救命医療に関しての患者さん自身の意思表示が明確かつ有効な場合は、その意思を尊重します。患者さんご本人の意思が不明なときは、ご家族の希望をお聞きします。また、宗教的信条、ドナーカード、リビングウィル、人工呼吸器の使用の諸否、輸血に関する希望など、ご要望がある場合は、事前に明確に意思表示してください。
6. 暴力・脅迫・器物損壊・強制わいせつ等の犯罪行為に対しては、警察へ通報するとともに、直ちに診療を中止し、退院していただきます。
7. 暴言・強要・セクハラ・診療の指示に従わないなどの行為に対しては、診療の中止等も含め、厳正に対処します。
8. 飲酒（ノンアルコール飲料を含む）は禁止となっております。病院敷地内での飲酒があった場合は、診察を中止し、退院していただきます。
9. 病院敷地内は全面禁煙となっております（電子たばこ等を含む）。病院敷地内での喫煙があった場合には診療を中止し、退院していただきます。
10. 携帯電話での通話は、許可された場所でのみ可能です。ご使用の際は他の方々にご配慮をお願いします。また、患者さんや職員のプライバシーに配慮するうえで、院内での写真撮影（動画含む）を禁止しております。
11. 医療費の請求を受けたときは、速やかにお支払いください。

お気づきの点やご不明の点がございましたら、遠慮なく医師・看護師などへご相談ください。

急性期医療の役割のご理解とご協力について

当院は急性期医療の医療機関です。そのため、日頃の治療は「かかりつけ医」で、専門的医療は当院で、と役割を分担しながら、患者さんの診療を担当します。

入院にあたっては、かかりつけ医の確認をお願いしています。退院時には、かかりつけ医の先生への診療情報提供書を作成し、治療内容を共有して、その後の診療にあたります。日々の健康管理や継続的な治療を受けるためにも、かかりつけ医をもつようお願いします。

また当院は、東京都指定二次救急医療機関でもあるため、重症あるいは病状が不安定な患者さんを受け入れられるよう常に病床を確保しておく必要があります。このような理由から病状が安定した患者さんには退院していただきます。ただし、ご自宅での療養が難しい場合には他の医療施設（リハビリテーション施設、介護施設など）を紹介させていただきます。退院後の生活について不安などございましたら、看護師・医療ソーシャルワーカーがサポートしますので、お気軽にご相談ください。

心配事や悩み事の相談について

患者さんやご家族が病気療養中に抱える様々な心配事（退院後の生活や療養場所・医療費の負担・社会復帰についてなど）には、社会福祉を専門とする医療ソーシャルワーカーがお話を伺い、問題を解決できるようお手伝いさせていただきます。相談をご希望の場合は、「**患者支援センター 相談窓口**」にお尋ねください。

以下のようなご相談に応じます

- リハビリ・退院後の療養先や転院について相談したい
- 在宅療養や介護に不安がある
- 療養中の生活や家族が心配
- 復職・職業訓練・学校生活について不安がある
- 医療費や生活費が心配
- 介護保険制度について知りたい
- 難病申請・障害者手帳など、社会福祉制度について知りたい・利用したい
- 退院時の移送手段について知りたい
- その他

相談窓口

地域医療連携センター TEL:042-524-2438
受付時間 平日8:30～17:15

入院から退院までの流れ



当院医師が診療の結果、入院が必要と判断した場合は、入院の手続きをしていただくことになります。

入院を予約された際に入院日が未定の患者さんには、後日、入院日や時間などを電話でご連絡差し上げます。なお、患者さんからの入院日の指定は承っておりません。

また、緊急を要するほかの患者さんや手術などの関係で入院日が変更となる場合があります。ご理解の程、よろしくお願いします。

なお、入院中病状等により、お部屋の移動をお願いすることもありますのでご了承ください。

当院より入院の連絡がございましたら、指定された時間までに1階**入院当日受付へお越しください。**

保険証、医療券、限度額適用認定証等は必ずご提出ください。ご提出されない場合は、自費扱いとなりますので、ご注意ください。

分娩のための入院など夜間、時間外の入院の場合は1階時間外窓口にお越しください。ご都合が悪くなり、入院日の変更や取り消しを希望される場合は、お手数ですが各科外来へご連絡ください。

●入院に必要なもの

- ☐健康保険証

☐マイナンバーカード

☐高齢受給者証、限度額適用認定証、各種医療券

☐入院申込（誓約）書兼保証書

☐診療券（入院中は看護師がお預かりします）

☐お薬手帳、服用中の内服薬・外用薬（入院時病棟にて薬剤師が一旦お預かりします）

☐履物（転倒しにくいもの）

☐テレビ用イヤホン

☐洗剤（洗濯を自分でされる方）

☐石けん・シャンプー・コンディショナー

☐髭剃り、くし等

☐義歯ケース（義歯を使用している方）
- ☐湯のみ（割れにくいもの）

☐使い捨てマスク（日数分）
- ☐歯磨き用品

☐コップ
- ☐ティッシュ

☐箸・スプーン
- ☐パジャマ

☐靴下
- ☐下着（オムツ）

☐タオル・バスタオル

※以下の物品は日額定額制のレンタルシステムもご利用いただけます。

※足ふきマットを設置しておりませんのでご用意ください。

・病室の収納スペースには限りがあります。持ち物は必要最低限をお願いします。

・マニキュア、ジェルネイルなどは入院前に落としてください。

●持ち込みをお断りするもの

次のものは持ち込みをお断りします。

- ・はさみ、カッターなどの刃物類
- ・たばこ（電子たばこなどを含む）、ライター
- ・酒などのアルコール類（ノンアルコール飲料含む）
- ・生花、鉢植えなどの植物
- ・加湿器、電気ポット等家電品

●入院当日について

入院受付

指定の時間までに本館1F入院当日受付にお越しください。
（特に指定のない場合は10:00までにお越しください。）

- 入院当日受付へご提出いただくもの
- ・健康保険証

・入院申込（誓約）書兼保証書

・診療券

・高齢受給者証、限度額適用認定証

・マイナンバーカード、各種医療券（お持ちの方のみ）



入院中の生活

入院後に受ける検査や治療について、「入院診療計画書」などを用いてご説明します。検査や治療の内容、看護の内容などについてご不明の点やご質問がありましたら、ご遠慮なく主治医または看護師にお申し出ください。

1 病棟の診療体制・看護体制について

診療体制

- ・診療科別に主治医を中心にチーム医療を行っています。
- ・夜間及び休日は原則として当直医が診療にあたります。

看護体制

- ・看護師の勤務体制は2交代（一部3交代）になっています。
- ・受け持ち看護師制をとっています（交代勤務のため、受け持ち看護師が不在の場合は別の看護師が担当します）。

2 入院生活を安全に心地よく過ごすために

●本人確認について

当院では検査や処置等を安全に行うために、ご本人確認をさせていただきます。患者さん・ご家族の皆様におかれましても下記の対策にご協力をお願いします。

- ・患者さんご本人にフルネームで名乗っていただきます。
- ・名前が表示されたネームバンドを着用していただきます。
- ・病室の入口・ベッドサイド等に氏名を表示させていただきます。
- ※名前の表示等に不都合がある方は事前にご相談ください。

●貴重品の管理について

全国の医療機関において患者さんの所持金などを狙った犯罪が多発しています。下記の事項にご留意いただき、盗難防止にご協力いただきますようお願いいたします。

- ・高額な金品、貴重品の持ち込みはご遠慮ください。
- ・現金、貴重品等についてはベッドサイドの収納棚（鍵付）に保管してください。※施錠は確実に!! 鍵は必ず携帯しましょう。
- ・手術の際は、鍵をご家族または病棟スタッフにお預けください。
- ・外出・外泊の際は、現金や貴重品を所持してお出かけください。

院内で発生した盗難事故、所持品の紛失および破損に対する責任は負いかねます。予めご了承ください。

3 1日のスケジュール

 起床と消灯

- ・起床は6時です。
- ・消灯は22時です。
- ・各個人のベッドランプの消灯は22時です。

※起床時間前およびベッドランプの消灯時間後は、点灯・談話・読書・テレビなどの視聴をご遠慮ください。

 シャワー浴

- ・病状によりシャワー浴できない場合があります。
- ・病棟により利用方法が異なりますので、入院後にご説明します。

 食事

- ・朝食は8時ごろ、昼食は12時頃、夕食は18時頃となります。
- ・食事は療養の一環として主治医が決定します。病院指定の食事をお召し上がりください。
- ・食事の種類によっては主食を変更することができます。ご希望の方は看護師にお知らせください。
- ・食物アレルギーや宗教上の理由により、お召し上がりになれない食品がある方はお知らせください。
- ・下膳の際は私物（箸、コップ、義歯など）を乗せたままにしないようご注意ください。

 お薬

- ・入院前に服用している薬がありましたら、必ず入院時にご持参の上、看護師・薬剤師にお知らせください。
- ・医師・看護師・薬剤師がお渡しした薬以外は、服用・使用しないでください。
- ・入院中は原則、当院以外の医療機関を受診すること、また、薬を処方してもらうことはできません。（8ページ参照）

 検査など

- ・診断および治療方針を決めるため、必要な諸検査を行いますのでご協力ください。
- ・検査の説明は前日に行います。
- ・病棟以外で検査や診療を行う場合があります。行先は看護師が説明します。
- ・病棟を離れる場合には、必ず看護師にお知らせください。
- ・食事やお薬などに変更が生じる場合があります。詳しくは病棟スタッフにご確認ください。

4 外出・外泊について

- ・外出や外泊には医師の許可が必要です。許可申請書に必要事項を記入していただきます。
- ・希望される場合は、希望日の平日2日前までにスタッフステーションでお申込みください。
- ・無断で外出、外泊された場合は、入院を継続することが難しくなる場合があります。
- ・別館コンビニエンスストア利用などで病棟を離れるときは、病棟スタッフに必ず声をかけてください。

5 設備やサービスについて

 ナースコール

- ・看護師にご用の方は、ナースコールでお知らせください。
- ・トイレ・洗面所・浴室にもナースコールがあります。ご気分が悪くなったときなどにご利用ください。

 防犯システムについて

各病棟のエレベータホールは施錠されており、入院受付時にお渡しするICカードがないと病棟へ入ることができません。移動の際は必ずICカードを携帯してください。

※ICカードの紛失・破損時は再発行手数料として1,100円（税込）をいただきます。

 シャワー室（予約制）

- ・シャワー室は各病棟にありますので、詳しくは病棟スタッフにお尋ねください。病状により制限が生じる場合があります。

 付き添い

当院は健康保険法に基づく看護体制をとっておりますので付き添いの必要はありません。ご家族の精神的安寧のために付き添いを希望される場合は病棟スタッフにご相談ください。

 テレビ、冷蔵庫、Wi-Fi

- ・ご利用される場合は、有料サービス（440円/日〔税込〕）となります。
- ・テレビを見る際はイヤホンを各自でご購入（ご持参）ください。
- ・消灯後のテレビ視聴はご遠慮ください。
- ・Wi-Fiのパスワードはサービスを申し込まれた際にお伝えします。
- ・室料差額が発生する個室などに入院の場合、ご利用料金は室料差額料金に含まれます。

 携帯電話・パソコン

- ・1階に公衆電話を設置しています。
- ・携帯電話は、当院で定めた下記条件のもとでご使用ください。
- ※常時マナーモードに設定してください。
- ※通話は廊下、エレベータ前、デイルーム、電話室、個室でのみ可能です。多床室は通話不可です。
- ※メール・アプリの使用制限はありません。ただし、手術室・ICU・HCU・NICU・診察室・検査室・処置室については、使用禁止（電源を切ること）とします。また、念のため、医療機器の半径1m以内には携帯電話を近づけないようにしてください。
- ・パソコンは病室でご使用いただけます。
- ※Wi-Fiに接続できるのは病室のみとなります。
- ・患者さんや職員のプライバシーに配慮するうえで、院内での写真撮影（動画含む）を禁止しております。

 面会時のご注意

- ・多人数でお越しの方、15歳以下のお子様をお連れの方の面会はご遠慮ください。やむを得ない場合は受付時に申し出ていただき、保護者の方が責任を持って監督・保護をお願いいたします。その際はデイルームをご利用ください。
- ・食事制限のある患者さんもおっしゃいますので、病室内での飲食はご遠慮ください。
- ・患者さんの安静療養へのご配慮をお願いします。
- ・発熱・咳・下痢・嘔吐のある方の面会をご遠慮ください。
- ・面会時入室前に手洗いまたは消毒をお願いします。
- ・インフルエンザなどの感染症流行期にはマスクの着用をお願いします。
- ・面会時のペットの連れ込み、生花の持込みは禁止させていただいております。

面会の受付窓口：本館1階面会受付・時間外窓口
14:00～20:00【平日・土曜日・日曜日】
※感染状況等により変更する場合があります。

〈皆さんに快適にお過ごしいただくために〉
※病院の療養機能を妨げるような行為が見られた際は、お声をかける場合がありますので、ご理解ください。ご協力いただけない場合、入院の継続をお断りする場合があります。



患者さんの安全のために

1 同じ病気の患者さんや同姓同名の方との間違いを防ぐために

- ・間違いを防ぐため、検査や処置などの際に氏名をお尋ねします。ご面倒をおかけしますが、ご協力をお願いします。点滴ボトルや内服薬、書類などにご自分の名前が書いてあるかどうか確認してください。
- ・輸血を受けるときは、ご自分の血液型・氏名・生年月日を確認してください。輸血前後の体調不良などは、遠慮なく医師や看護師にお申し出ください。

2 個人の尊厳と危険防止の兼ね合いについて

- ・患者さんの状態によっては、入院中に転倒・転落・徘徊が生じることがあります。ご家族の同意を得た上で行動制限（抑制・拘束）を実施することもあります。最小限にとどめています。多少のリスクがあっても個人の尊厳のほうが重要と、当院は考えます。
- ・不安な点がありましたら、病棟の看護師長にご相談ください。ご希望によっては、ご家族に付き添っていただくことも検討します。

3 院内感染防止について

- ・医療従事者は院内の「感染防止対策マニュアル」に従って医療行為をしておりますが、病院内にはいろいろな病原菌を持った患者さんが入院しているため、院内感染が完全に防げるわけではありません。
- ・感染予防のために、食事前・トイレの後にはせっけんを使って手を洗ってください。検査や外出から戻った際にも、手洗いや手指の消毒を行うことをお勧めします。病室入口などに置いてある手指消毒薬をご利用ください。

4 転倒を防ぐために

入院生活を送る病院の環境はそれまで住み慣れた家庭とは異なります。その環境の変化に病気やけがによる体力や運動機能の低下が加わり、思いもかけない転倒・転落の事故が起こることが少なくありません。転倒を防ぐために以下のことにご注意ください。

- ・入院日・退院日前後は転倒が多くなります。慎重に行動しましょう。
- ・スリッパは危険です。かかとのある履き慣れた靴を履きましょう。
- ・ベッド周りにはなるべくものを置かず、整理整頓をしましょう。
- ・ベッドは、腰掛けたとき、足が床にしっかり着く高さに看護師と調整しましょう。
- ・オーバーテーブルや床頭台は動きます。寄りかからないようにしましょう。
- ・靴をはくときや着替えるときは、腰掛けて行いましょう。
- ・熱があるときや睡眠薬を飲んだ時は、トイレ歩行時に転倒しやすくなります。ふらつくときは、動く前に看護師を呼んでください。
- ・体のどこかをぶつけたり転んだりしたときは、すぐにお知らせください。



5 災害等緊急時について

火災時の注意

- ・火災の時は職員の指示に従って避難してください。
- ・避難するときは、タオルなどで口や鼻を覆ってください。
- ・避難するとき、荷物は絶対にもたないでください。
- ・動けない方には職員などの救護班が対応します。
- ・避難するときはできる限り背を低くしてください。
- ・下の階が火災のときは、直ちに職員などが一時避難所または屋外避難所へ避難誘導をします。
- ・上の階が火災のときは、落ち着いて職員などの指示に従ってください。



地震時の注意

- ・当院は耐震について十分考慮してありますので安全です。地震が起きた場合には職員等の指示に従って、冷静に行動してください。

6 入院中の他の医療機関への受診について

当院はDPC（包括支払い）対象病院のため、原則として、入院中に保険扱いによる他医療機関（歯科を除く）を受診することはできません。患者さん本人の代わりに家族などがかかりつけの病院から継続してお薬をもらう場合も受診に該当します。ただし、当院ではできない専門的な診療が必要と主治医が判断した場合は、他医療機関を受診していただく場合もあります。当院入院中に持参されたお薬が無くなる場合や他医療機関の予約が重なっている場合など、他医療機関での受診を希望される場合は、主治医または看護師にご相談ください。

もし、ご相談なしに他医療機関を受診された場合、健康保険を使えず、その費用が全額患者さんの負担となるだけでなく、他医療機関にもご迷惑をおかけすることになりますので、ご注意ください。

当院入院中の患者さんが保険扱いで他医療機関を受診した場合の取り扱いについて

主治医の指示により、当院入院中の患者さんが他医療機関を受診し、他医療機関で実施した診療行為の費用は、当院の医師が実施した場合と同様に取り扱われます。このため、診療費用については他医療機関での支払いは発生せず、当院から患者さんに当院の入院費として請求させていただきます。

なお、退院日まで他医療機関での診療行為・費用が把握できず、会計が保留になる場合もありますので、ご了承ください。



退院の手続き

主治医から退院の許可がありましたら、退院について担当の看護師とご相談ください。
退院に当たっての注意や退院後の療養の計画をまとめた「退院療養計画書」をお渡しします。

1 退院の手続きについて

- ・退院の時間は原則、午前10時となっております。それまでに退室の準備をお願いします。
- ※退室後にデイルームなどでご家族の迎えを待つことは可能です。
- ・退院当日に1階総合受付会計窓口にて入院費をお支払い後に、病棟に戻っていただき、退院の手続きをします。(入院費の概算額は退院日の前日の午後にお知らせします。)

2 入院費のお支払いについて

●入院費用について

健康保険による入院の場合は、治療費は健康保険の規定により計算します。自費による入院の場合は、当院の規定により計算します。

入院費のお支払いについては、退院日の朝9時30分以降に、1階総合受付会計窓口にてご精算していただきます。時間外(夜間及び休診日)は、1階時間外窓口にてご精算していただきます。

なお、治療内容等によっては退院時に計算が間に合わない場合があります。その際は後日、電話にてご連絡します。また、退院当日の処方・処置等が請求時には間に合わず、「追加請求」させていただく場合がありますので、ご了承ください。

月をまたいで入院されている患者さんについては、月末締めで入院費の計算をして、10日頃に各病棟へ前月分の請求書をお届けします。お支払いは、平日8:30～17:15までに1階総合受付会計窓口にてお願いします。

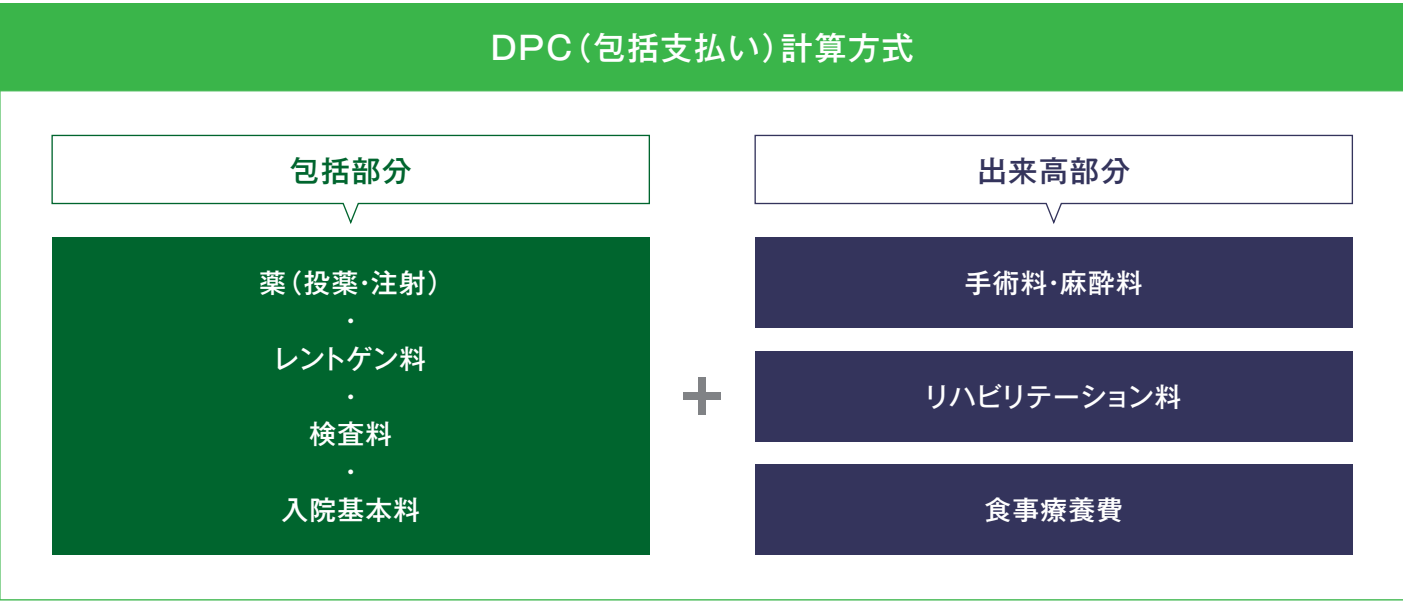
- ※当院は包括評価方式(DPC)により入院費の計算をしております。(一部の疾病や治療など包括評価方式に該当しない場合もあります)
- ※クレジットカードでのお支払いも可能です。
- ※入院費についてご不明な点は、医事課入院係にお問い合わせください。



DPC (包括支払い) について

当院は、厚生労働省の指定によりDPC (包括支払い) 対象病院となっており、入院費の計算は以下のようになります。ただし、入院している間の病名や診療内容等により計算方式が変わる場合があります。その場合、入院の初日にさかのぼって入院費の再計算を行うことになり、すでにお支払いになった入院費が追加または返金となる場合がありますのでご了承ください。

DPC (包括支払い) とは、病名や診療内容などにより1日当たりの包括部分の入院費が決まり、包括部分の金額に出来高部分の金額を合算する計算方法です。ただし、病名や診療内容などによっては全て出来高計算方式となる場合があります。なお、DPCデータは、厚生労働省が発行する「DPCデータの提供に関するガイドライン」に準じて、個人が完全に特定できない形で第三者に提供する場合があります。

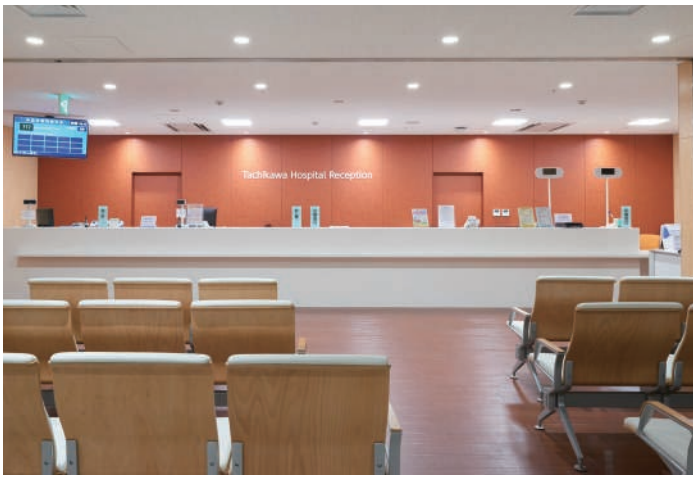


入院費について(2023年1月現在)

健康保険・国民健康保険・退職者医療・後期高齢者医療を利用される方の1日分の個人負担額は、入院基本料、食事療養費、室料差額、その他(自費でご負担いただくもの)を合算して算出します。

※一般の病棟の場合、DPC (包括支払い) により算定します。健康保険の負担割合の違いにより、個人負担額は異なります。

※お部屋によって差額が発生します。入院費の計算は、健康保険法の規定により、ホテルなどの宿泊の計算とは異なり、午前0時を起点にした日数計算となります(例:1泊2日のご入院の場合、室料は2日分となります)。



高額医療と限度額適用認定証について

病気やけがの治療で医療費が高額になる場合、入院の方は「限度額適用認定証」を病院に提出すれば、病院への支払額を軽減できます。事前にご用意のうえ、入院の際に「入退院センター」（1階）に保険証と共にご提出ください。

この認定証を得るには、患者さんご自身（あるいはご家族）による申請が必要です。申請先は、加入している健康保険によって異なります。ご加入の健康保険の保険者（健康保険証の発行元）にお問い合わせください。※対象となるのは70歳未満の方です。

健康保険限度額適用認定証									
平成 年 月 日交付									
被 保 険 者	記号	番号							男 女
	氏名								
適 用 対 象 者	生年月日	大正・昭和・平成		年	月	日			
	氏名	見 本							男 女
	生年月日	昭和・平成		年	月	日			
	住所								
保 険 者	発効年月日	平 成		年	月	日			
	有効期限	平 成		年	月	日			
	適用区分								
	所在地								
保 険 者	保険者 番号								
	通 称 及び印								

手続の流れ

1 入院に先立ち、患者さんが申請書を保険者に提出します。

申請先はご加入の健康保険によって異なります。

国民健康保険 …… 市区町村の窓口

健 康 保 険 …… 各保険組合または勤務先

詳しくは保険証の発行元にお尋ねください。



2 申請先の保険者から被保険者（患者さん）に「限度額適用認定証」が発行されます。



3 入院時に患者さんが「限度額適用認定証」を持参し、病院の入院当日受付(1階)に掲示してください。



4 病院での支払いの際に、支払額が軽減されます。

- ※入院の時期があらかじめ分かっている方は、入院前に保険者に申請できます。
- ※入院時に提示できない場合は、お申し出ください。同一月内にご提示いただければ利用できる場合があります。
- ※1カ月（1日から月末日）ごとの適用となります。
- ※入院した月内に提示してください。月が変わると適用できません。
- ※食事代や室料差額、保険適用外のものについては対象になりません。

診断書・証明書の発行について

診断書・証明書などの書類をご希望される方は、1階総合受付「文書窓口」にて、平日8:30～17:15までにお申し込みください。退院日の前日から受付可能です。作成には2週間程度お時間がかかるため、退院後のお渡しになります。詳しくは「文書窓口」でご相談ください。
※退院後すぐに必要な書類がある場合は病棟スタッフにご相談ください。



名称	単位	金額(円/税込)
診断書(障害年金申請)	1枚	11,000
診断書(難病申請、障害者手帳申請、自立支援申請、福祉手帳申請)	1枚	5,500
立川病院書式診断書	1枚	4,400
治癒証明書	1枚	550
領収証明書(事務証明書料・点数確認書料)	1枚	1,650
生命保険関係診断書	1枚	8,800
出生証明書	1枚	3,300
死亡診断書	1枚	3,300
診療情報提供書	1枚	保険適用
傷病手当金意見書	1枚	保険適用

施設案内

コンビニエンスストア

・別館 平日 7:00～20:00、土日祝 7:00～18:00
看護・介護用品を取り扱っています。
キャッシュコーナー（ATM）、宅配便の取扱いもあります。



郵便物

・郵便ポストは時間外窓口・面会受付脇に設置されています。
・外部からの手紙、小包類はスタッフステーション経由でお渡しします。

コインランドリー

・ご自身で洗濯される方は4階のコインランドリーをご利用いただけます。
ご利用可能時間（8:30～19:00）



レンタルサービス

・寝衣とタオルのレンタルサービス（有料）です。申し込まれた方は、ベッドサイドまでお持ちします。

理容サービス

・長期入院の患者さんで、希望される方は予約していただきサービスを受けることができます。病棟スタッフにご相談ください。

自動販売機

・各病棟のデイルームに設置されています。

タクシー

・1階（正面ロータリー、西側ロータリー）に乗り場があります。
・乗り場にタクシーが停車していない場合は、タクシー呼出の直通電話が1階に設置されておりますので、そちらをご使用ください。
・介護タクシー（寝台車・車椅子での乗車）の利用をご希望の際は、病棟スタッフにご相談ください。

デイルーム

・各病棟にデイルームがあります。
・利用時間 6:00～22:00
・デイルーム内での騒音は、他の方の迷惑になりますのでお控えください。
・ゴミ箱は設置しておりません。ご利用の方はゴミをお持ち帰りください。

テラスの利用について

・4階テラス利用時間
4月～9月 14:00～18:00
10月～3月 14:00～16:00
※テラスでは飲食・喫煙はできません。



敷地内全面禁煙について

当院では敷地内全面禁煙（電子たばこ等を含む）を実施しております。ご理解、ご協力よろしくお願いします。
禁煙ルールについてご理解、ご協力いただけない場合は退院していただきます。

その他のご案内とお願い

研修生、実習生の受入について
当院ではこれからの医療人の育成のため、研修医をはじめ、看護師、医療技術者、事務職員などの医療スタッフの研修・実習を受け入れています。患者さんの同意を得た上で、これらの実習生が診療の際に主治医と同席する場合もありますが、ご了承ください。

病室のご案内

特別室



産科特別室（LDR:陣痛～分娩～回復）



※LDRでは陣痛・分娩・回復まで同室で過ごせます。また、分娩時ご家族の付き添いも可能です。（中学生以下は不可）

個室



有償多床室



※入院後もご希望により、病状や空室状況によっては部屋を移ることが可能です。

フロア案内

本館

5～8 階	病棟
4 階	病棟、コインランドリー、テラス
3 階	ICU / HCU、透析センター、手術室
2 階	外来診療部門、採血・採尿、生理機能検査、内視鏡センター、リハビリテーション、外来化学療法室、緩和ケア室
1 階	総合受付、入院当日受付、エントランス総合案内、外来診療部門、救急外来、放射線部門、心臓カテーテル室、薬局、面会受付(時間外窓口)

別館

2 階	栄養指導室、患者支援センター、地域医療連携センター
1 階	フードコート、コンビニエンスストア・ATM
B1	健診センター



立川病院

国家公務員共済組合連合会 立川病院

TEL:042-523-3131

<https://www.tachikawa-hosp.gr.jp>

〒190-8531 東京都立川市錦町4-2-22



●最寄駅からのアクセス

JR南武線「西国立駅」より徒歩3分(約260m)

JR中央線「立川駅」より徒歩15分(約1,050m)

●バスでのアクセス

JR中央線「立川駅」よりバス10分「立川病院」:停留所下車

立川駅南口4番のりば 国立駅南口行<立川バス:国15-2>

JR中央線「国立駅」よりバス20分「立川病院」:停留所下車

国立駅南口6番のりば JR立川駅南口行<立川バス:国15-2>

【くるりんバス(立川市民バス)】

錦ルート(下り)「立川病院」停留所下車 徒歩1分



●お車でお越しの方

お車でお越しの方は外来者駐車場をご利用ください。

※駐車場連絡通路(2階陸橋口) 8:00~18:00

入院予定の患者さんは車で来院をご遠慮いただいています。入院の際は必ず送迎いただくか公共交通機関でお越しください。

【駐車料金】

■受診利用の場合(入院・退院当日の送迎、外来患者さん)

1回 400円(受診当日)

※30分以内に庫車された場合は200円

■それ以外で利用の場合

30分 200円 平日最大2000円

休診日は最大1000円(0:00~24:00)

※入院中(緊急入院含む)の外来駐車場への常駐をご遠慮ください。常駐された場合は別途料金がかかりますので、ご了承ください。

※入院・退院当日の送迎の場合は、病棟で駐車券を提示、割引印を受け、面会受付で割引処理を受けてください。

※休診日… 日曜日、祝日、年末年始

